

②5 ICTの活用による高齢者に安心と笑顔を届ける地域に合ったモビリティの創造

メンバー

実施者：特定非営利活動法人 ほほえみの郷トイトイ
連携団体：山口市役所、阿東地区社会福祉協議会、阿東地域づくり協議会、地福タクシー

活動目的

高齢者が地域で安心して暮らし続けることのできる新たな移動の仕組みの構築
・ 移動販売の充実による高齢者の買い物機会の確保とICT支援
・ ICTを活用した高齢者のニーズ把握と移動の仕組みのマッチング

対象地域：
山口県山口市阿東地域
(人口)
約5,300人
(世帯数)
約2700世帯
(高齢化率)
57%



取り組み内容

キーワード：笑顔と安心／ICT活用／コミュニティ維持／移動販売車／貨客混載／支え合い

- 【1】野菜の集荷・配食サービスとラストワンマイルの移動手段の実証実験に取り組んだことで、地域の潜在ニーズが明らかになりマッチングの仕組みづくりが進められた。
- 【2】移動販売車の運行による買い物支援と見守り及び高齢者のICT活用支援（お困りごとがある際にトイトイに通知するためのボタンを、一人暮らしの高齢者の自宅に設置）の実施では、地域の暮らしにおける高齢者への安心の提供と信頼関係の構築が出来たことで、売上向上により地域での取り組みの持続可能性を高めることが出来た。
- 【3】過疎地域におけるICTを活用したしくみの有効性の検証では、人口減少の進む中でコミュニティを維持するためのツールとしてICT活用の有効性が確認できた。

2020年度の活動実績

- ・ 高齢者の移動ニーズの把握とICTを活用したマッチングのための実証（モニター参加者6名）
- ・ 移動販売車による買い物機会の提供と高齢者のICT活用支援（週1回から週2回訪問に増加）
- ・ 高齢者が地域で安心して暮らし続けるための仕組みづくりと移動手段の検証



取り組みが地域に与えた影響

- ・ 高齢者の免許返納等に伴い、移動手段に不安を抱える高齢者が多い地域にとって今回の取り組みにより、地域での移動を考える良い機会となった。特に移動販売車が1台増え、週1回であった訪問が週2回になったことで買い物機会が確保されただけでなく人との会話が増えたことで移動手段がない高齢者にとって安心感となった。さらに現在はまだ移動販売を利用していない高齢者も免許返納後の地域での暮らしをイメージすることが大きな成果だと考えられる。
- ・ 地域コミュニティを維持するためのツールとしてICT活用について様々な実証を行ったことで、高齢者の笑顔と安心につながるICTの活用について関心が高まった。
- ・ 移動の仕組みだけでなく地域全体のマネジメントとして移動販売を核に、安心して暮らせる地域づくりに取り組む機運が高まった。

取り組みで得た知見（これから取り組む方に伝えたいこと）

地域での移動について考える時に、あくまで安心して楽しく生活するための手段だということを忘れずに取り組みを進めることで、本当に必要な地域にあった移動の仕組みづくりが実現すると考えている。

専門家コメント_グローバル交流推進機構

移動販売・店舗運営を軸にして、地域のニーズをくみ取りながら、様々な生活機能を提供している、地域づくりの好事例です。今後は宅配業者の配送受託など、収入の多様化や外部事業者・行政との連携などを進め、さらに地域を支える長期的な人材育成などに取り組み、ますます阿東にとってなくてはならない存在となると思います。